



鈴木基夫
自由クラブ

イネーブリング・シティ構想について

問 健康課題における子供の健康問題について伺う。

答 令和6年度の中学生1年生の血液検査へモグロビンA1cの結果では、3割弱の生徒が基準値を超える状況であった。また、朝食の欠食が小中学生のどの学年にも1割程度いる

状況や就寝時間の遅れ、身体活動の減少など、子供の健康課題は保護者や地域、関係機関も含めた取組の必要性を感じている。

問 イネーブリング・シティWarkの実施状況について伺う。

答 6年度は3回実施し190人の参加、1284件の写真と投稿があった。引き続きデータ収集と分析を続け、様々なイネーブリング



・ファクターを見つけ出し、イネーブリング・シティの実現に向けて取り組んでいきたい。

問 今後の具体的な施策の展開について伺う。

答 まちを歩く人が少ないことに着目し、市民の歩数増加、交流の場づくり、活気の創出など、まちづくりを目的としたベンチの設置などを検討している。

エリアレジリエンス強化について

問 市独自の制度創設について伺う。

答 医療など、災害時に直接的に命を守る観点に考慮しつつ、制度創設について検討していきたい。



藤田裕喜
自民党市議団

子育てや教育をとりまく諸課題について

問 送迎保育ステーションの導入について、市の考えを伺う。

答 自宅から離れた園への入園も可能となることから、入所希望集

中の解消にもつながり、また送迎の負担も減る等のメリットがあると考える。一方で、子どもにとって今以上に保育時間やバスの乗車時間が長くなることも想定される。バスで各園に送迎する際に同乗する保育士の確保等様々な課題も考えられるが、子育て支援策の一つとして研究していきたい。

問 新入学児の保護者が、小学校入学前の早い時期から学校の情報が得られるよう、対策を伺う。

答 大きな変更については紙面をもって周知

すべきと考える。また、学校が保護者参加型の企画を実施することで、小学校への来訪の機会を設けることができるため、今後検討していきたい。各小学校のホームページの充実も働きかけていきたい。

問 中学校の制服を自由化することも選択肢の一つとして、検討すべきではないか。

答 制服を廃止した方がよいという意見がある一方で、制服が必要と答える保護者もいる。実際に制服を着用している生の声や今後を見据えた意見をふまえ、これからの制服の在り方について慎重に検討を進めていきたい。



千賀充能
自民党市議団

総代区について

問 町内会未加入の解決策について伺う。

答 昨年度、常会の加入促進策として、活動内容をわかりやすく紹介するリーフレットを

日本語、英語、タガログ語の3言語で作成し、転入転居等の届出の際に、市民課窓口で配布している。今後も、総代会と連携しながら、必要な取組を進めていきたい。

問 世帯数が少ない総代区の合併を進めるなどによる、持続可能な総代区の在り方についての考えを伺う。

答 自治会の再編は、それぞれ総代区の成り立ちや活動の歴史もあり、再編のメリット、デメリットを考慮し、自治会同士の話し合いを重ねることが重要と

認識している。市としては、総代会と連携しながら、地域の意向や課題解決に向けた動きを積極的に支援をしていきたい。

問 市として部活動の地域移行を今後どのように行うか伺う。

答 部活動の地域移行を進めていく上で、スポーツ関係団体等の活動しやすい環境整備により、既存の団体の拡充や、新団体の設立を促進することが重要であると考えるが、具体的方策は定まっていないため、引き続き検討していく。



自治会加入促進リーフレット